

金沢大学広報誌

[アカンサス]

Acanthus

56

2025
SPRING

PRESENT
金沢大学オリジナルQUOカード



金沢大学の最新情報を紹介!

NEWS&TOPICS

学生のための連載企画

Enjoy!!

課外活動団体SNAP

人生の「選択肢」が広がる

大学院って どんなところ?

【特別企画 第3弾】

能登の創造的復興に係る
本学の取り組み



特集：大学院ってどんなところ？

Stage 1

「大学院」と聞いて、どんなことが思い浮かびますか？「私には関係ない」「経済的に無理」という前に、まずは「将来、どんな生き方をしたいか」を考えてみませんか。本特集があなたの未来の選択肢を考える一助となれば幸いです。

Design: POLUX Illustration: gallery&design URUNO Text: Public Relations strategy office staff

Q 大学院は何のために行くの？

一言で言うなら、自分の価値を高め、「知」を探究するためです。これは、高校時代に大学進学を志した理由と同じではないでしょうか。より専門的な知識や技術を身につけること、将来活躍したいフィールド（職種）において必要とされる学位（修士・博士）を取得することなどは、「社会に出て、より一層活躍できる人材になるため」の手段です。特に博士号は高い能力・資質・技術を修得した証明であり、欧米では企業の幹部は修士号や博士号を持っているのが当たり前です。

人口100万人当たりの博士号取得者数の諸外国比較をみると、横ばい傾向が続いてい

るのは主要国の中では日本のみ。韓国、中国、アメリカは2000年以降で2倍以上に増加しており、日本の国際競争力の低下原因の一端がここに表れています。（※1）

ただ一方で、旧帝大と言われる7大学では、大学院進学率が約48～61%であり、学士課程を卒業した学生の約半数が大学院へ進学しています。また、理・工学部だけの進学率はさらに高く約78～90%です。（※2）本学の理工学域の大学院進学率は2021～23年度卒業生の平均で72%であり、20年前の1.3倍に増加しています。人生の選択肢の一つとして、「大学院進学」を考えてみませんか？

※1 出典：文部科学省「博士人材活躍プラン」（2024.3.26）

※2 各大学Webサイト公開の就職等状況データ（2024.5.1）を元に本学調べ



学士課程

ABILITY

コミュニケーション力
主体性
基礎学力
教養

修士・博士前期課程

ABILITY

探求力
コミュニケーション
主体性
協調性
総合知
教養

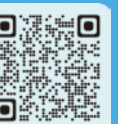
博士・博士後期課程

ABILITY

探求力
コミュニケーション
研究遂行能力
融合知
主体性
協調性
独創性
教養

What is graduate school like?

金沢大学学士課程と
大学院構成図>>>>>>>>>>



Q 大学院ではどんなことをしているの？

大学院には修士課程と博士課程があります。(※)区分制の博士課程では博士前期課程(2年)と博士後期課程(3年)に分かれています。医学・薬学など6年制の学士課程と接続する博士課程は4年制です。金沢大学では、20学類の学びを基盤に、発展させることができる研究科を設けているのが特長です。本学では、大学院で育成する人材像を「大学院課程〈グローバル〉スタンダード」として定め、人類の未来を切り拓く使命に果敢に挑戦する高度専門人材を育成しています。

修士・博士前期課程では講義の時間も少

なくありません。さらに、ゼミや研究室での活動を通して、広範な教養と深い専門性を養います。博士・博士後期課程では研究活動が主となります。自ら設定したテーマについて主体的に研究を進め、論文にまとめることで専門性を高めると同時に、新たな価値の創造やイノベーションの創出を可能にする力、さらに業種や職種を問わず応用できる能力「トランスファラブルスキル」を身につけます。

研究するために大学院へ進学しても、生活のためのアルバイトに時間を割かれては本末転倒です。本学では、博士研究人材支援・

研究力強化戦略プロジェクト「HaKaSe+〈ハカセプラス〉」を推進し、自身の学問領域を超えて知見を養えるプログラムの提供や経済支援を行っています。

大学院課程〈グローバル〉スタンダード

- 1 グローバルマインドと明確な倫理的思考
- 2 交渉力・統率力・実践力
- 3 多様な「知」を融合し、新たな価値を創出する総合知
- 4 トランスファラブルスキル

大学院課程〈グローバル〉スタンダード >>>>>>>>



※金沢大学には専門職学位課程もあります。

本学独自の進学支援

博士は未来を切り拓く。

HaKaSe+

金沢大学博士研究人材支援研究力強化戦略プロジェクト
〈ハカセプラス〉

金沢大学から日本そして世界のイノベーション創出の芽となり、未来社会の創造を担う卓越した博士人材が育つことを願い、真に優秀で志高い博士学生を選抜し、博士人材としての将来の活躍に向けて支援する本学独自のプロジェクトです。

詳しくは
HaKaSe+
Webサイト >>>



- Point 1 研究力の向上支援**
分野を超えた研究交流を通じた、学際融合による革新の創出と、多様な視点の獲得による資質やスキルの向上を後押しします。
- Point 2 社会で活躍するためのキャリア形成支援**
トランスファラブル/アカデミックスキル向上セミナーや博士学生と企業との交流会等を実施しています。
- Point 3 経済的支援**
給付型奨励金、研究費、授業料(一部)免除、海外研究留学や学会発表等の旅費補助制度などが充実しています。

Mai NAGAOKA

医薬品の開発に携わり、社会に貢献したい

幼少期にぜんそくを患っており、「薬」が身近にあったことから薬学に興味を持ちました。入学後、薬学を学ぶ過程で、まだよく分かっていない事象を探究することに面白さを感じたため、学士課程3年次のコース選択では創薬科学類を選択し、さらに大学院へ進学しました。博士前期課程1年次には、投稿した論文が学術誌に掲載され、研究がさらに楽しくなりました。

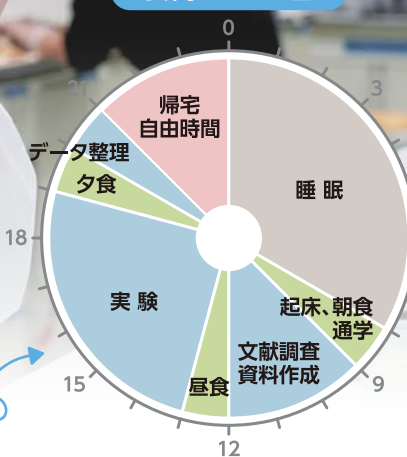
私の場合、博士前期課程の時に博士後期課程への進学を決めていたので、HaKaSe+〈ハカセプラス〉の予約採用に申請し、

採用されました。博士後期課程進学後も授業料免除や奨励金によって、研究に打ち込める環境が整っています。

私は「薬物代謝酵素」と呼ばれるタンパク質について研究をしています。この酵素は医薬品を体内から消失させる働きを担っており、薬の効果や副作用に個人差が生じる原因を考える上で重要なものです。しかし、未だ分かっていないことが多く、その解明に取り組んでいます。将来は、製薬会社で研究に従事し、医薬品開発を通じて世の中の人々の役に立ちたいと考えています。

大学院医薬保健学総合研究科
創薬科学専攻
博士後期課程 2年
ながおか まい
長岡 茉唯さん

長岡さんの1日



研究室は先輩後輩なく和気あいあいとした雰囲気です。お互い助け合って切磋琢磨しています。

大学院新学術創成研究科
ナノ生命科学専攻
博士後期課程 2年
すずき たいせい
鈴木 大晴さん

Taisei SUZUKI

講義をきっかけに専攻を宇宙物理から生物物理へ

高速原子間力顕微鏡を用いて脳の記憶形成に重要なタンパク質のダイナミクスを観察・解析しています。

鈴木さんの1日



数物科学類での学士課程時代は大学野球に打ち込んでいましたが、ケガで野球人生を諦めることになりました。そのタイミングで、ちょうど金沢大学の小型衛星が打ち上げロケット搭載に向けて開発中だと知り、自分も携わりたいと思い、生活の中心を研究にシフトしました。

自然科学研究科の宇宙物理学研究室に所属して、小型衛星の開発に携わっていたのですが、博士前期課程で履修した、ナノ生命科学研究所の柴田幹大教授の講義をきっかけに生物学への興味が呼び起こ

れました。病弱だった幼少期に病気をなくすにはどうしたらいいのか疑問に思っていたことを思い出し、博士後期課程から分野を変え新学術創成研究科ナノ生命科学専攻に進学しました。

現在は、柴田教授の研究室で、記憶のメカニズムを解明する研究をしています。金沢大学には世界最高性能の高速原子間力顕微鏡があり、タンパク質を分子レベルで観察することができるのが大きな魅力です。修了後は、研究によって医療に貢献できる道へ進みたいと思っています。



大学院医薬保健学総合研究科
医科学専攻
修士課程 1年

みょうがん ゆうま
明翫 佑真さん

Yuma MYOGAN

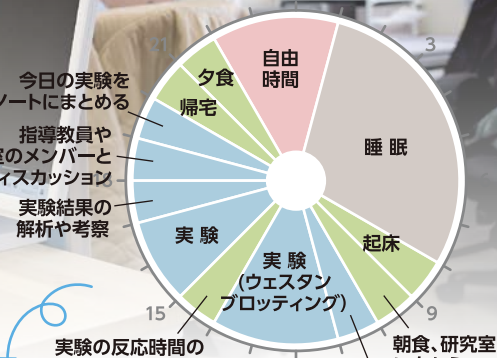
がん幹細胞との出会いと興味から研究の道へ

高校時代に好きだった教科が生物だったので、他大学の生命科学部へ入学しました。学部2年次にごん幹細胞を学び、その複雑なメカニズムに興味を持ったことが大学院での研究を意識したきっかけです。

学士課程では乳がんの研究をしている先生の研究室に所属しており、その恩師が金沢大学がん進展制御研究所の後藤典子教授とご縁があったことから、本学大学院への進学を決意しました。

後藤先生の研究室では、乳がんの悪化に関わるタンパク質の複合体を観察しています。金沢大学では、ナノ生命科学研究所にある高速原子間力顕微鏡を用いて液中にあるタンパク質の動態を観ることができ、とても面白いです。入学して約半年後には、福岡県で開催された第47回日本分子生物学会でポスター発表する機会をいただきました。今後も主体的、能動的に研究を進め、将来は研究職に就きたいと思っています。

明翫さんの1日



今日の実験のノートにまとめる
指導教員や研究室のメンバーとディスカッション
実験結果の解析や考察



今日の実験のプロトコルや試薬の確認、実験開始
多量に培養した細胞から観察に必要なタンパク質だけを取り出し、他のタンパク質が混じっていないか確認します。

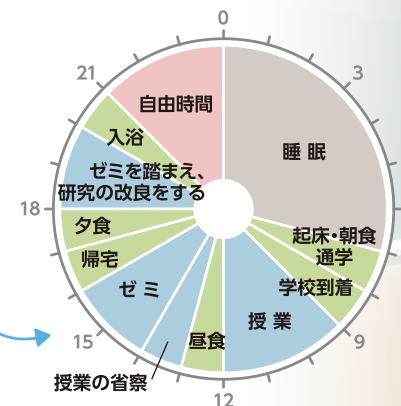
Dai ARIMA

インクルーシブ教育の研究者の下で学ぶため金沢大へ

小学校6年生の時に会った音楽の先生の影響で小学校の教師になりたいと思うようになりました。学士課程は他大学の教育学部で、多様な事情や背景を持つ児童・生徒が共に学ぶ教育「インクルーシブ教育」について学びました。卒業論文を作成する際、特別支援教育の専門家である金沢大学人間社会研究域学校教育系・武居渡教授の論文を読み、武居先生の下で学びを深めるため、本学大学院教育実践研究科へ進学しました。

大学院の授業では、院生が主体的に考え、ディスカッションする機会が多くあります。また、社会人学生が多く、現職の教員の方と議論できるのも大きな魅力です。さらに、専門職学位課程2年次には、週に2日、小学校で実践的に学ぶことができます。児童一人ひとりに適した教育を提供できる小学校教員を目指し、効果的な支援方法を探究し続けます。

有馬さんの1日



大学院教育実践研究科
教育実践高度化専攻 1年

ありま だい
有馬 大さん



授業の班活動で、現職院生と共に、それぞれの2024年度の1年間を振り返り、パネルにまとめて発表しました。

Rino SHIMOSHIGE

世界中に生息する磁性細菌の生命現象を解明したい

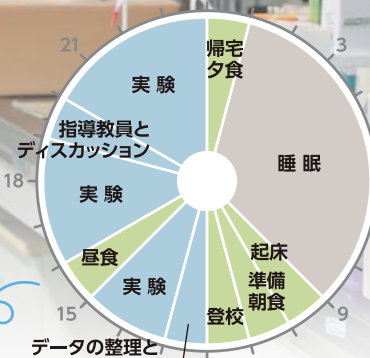
高校時代に興味を持った生物学を極めるため、基礎研究にも定評がある金沢大学に入学しました。本学は経過選択制なので、1年次に物理や化学など幅広く学ぶ中で、やはり自分には生物学だと確信を持って専攻を選んだ点も魅力でした。

私は学士課程4年次から理工研究域生命理工学系・田岡東教授の研究室で「磁性細菌」の研究をしています。世界中に生息する細菌で、地球における始原生物の生

命現象の理解につながると期待されています。博士前期課程の時は研究職で就職予定でしたが、研究を続けたくて博士後期課程への進学を決めました。

博士後期課程では、研究が行き詰まり苦しい時期がありましたが、今年スペインの学会でポスター賞をいただくことができました。将来は、アカデミアに残り、磁性細菌の研究が進んでいる海外の研究室で研究を続けたいです。

下茂さんの1日



データの整理と実験計画を立てる



磁性細菌は細胞内にマグネタイトを作り出す点も興味深く、鉱物を取り囲む膜を蛍光で観察しています。

Shigehiro MATSUDA

大学で文転し、マキアヴェッリ研究に没頭

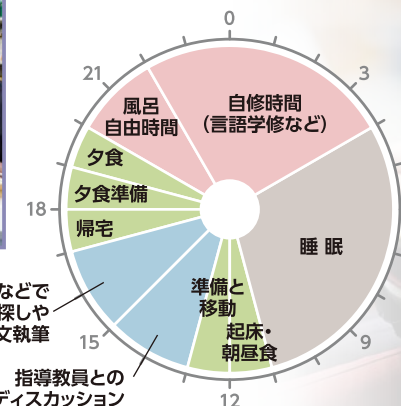
高校までは就職を考えて理系でした。しかし、元々、小説やアニメなどから各国のリーダーたちの攻防に興味があり、大学では文転して国際学や政治学、軍事論を学べる他大学の文系学部に入学しました。学士課程2年次にイタリア・ルネサンス期の政治思想家ニコロ・マキアヴェッリを知り、魅了されました。

3年次に卒論を仕上げ、4年次は研究に没頭していた中で、出身地・石川県にある金

沢大学の石黒盛久教授がマキアヴェッリ研究をされていることを知り、本学大学院へ進学しました。

マキアヴェッリ研究は、彼の死後約500年経った今も世界中で活発に行われています。解釈が分かれているため、まだ誰も指摘していないことを自分が論じられる可能性があり、やりがいを感じます。将来は、アカデミア界でマキアヴェッリの研究を続けることが目標です。

松田さんの1日



大学内での研究活動は石黒教授にご指導いただいたり、附属図書館で調べものをしたりしています。

大学院人間社会環境研究科
人間社会環境学専攻
博士後期課程 2年
まつだ しげひろ
松田 成弘さん

Q 大学院を修了した後の就職先は？

国際連合や世界保健機関などの国際機関および博物館・美術館、アカデミアの採用は博士号取得者がほとんどです。研究職を志す大学院生は大学や公的な研究所、材料・化学・医薬品・食品・化粧品メーカー等の民間企業を目指します。

博士号を取得した人材の現在の配属先と今後の活躍を期待する配属先の調査結果によると、理系・文系に共通して上位4つに含まれるのが「研究・開発系」と「経営企画・経営戦略系」となっており、課題設定・解決能力、調査分析・情報活用能力、マネジメント能力、調整能力などが見込まれています。(※1)

なお、修士・博士前期課程を修了して博士・博士後期課程へ進学する人が、日本全体では減少している一方で、社会人学生は大幅に増加しています。2018年には、博士・博士後期課程学生の内、約44%を社会人学生が占めており、博士・博士後期課程への社会人入学者数は2018年までの15年間で約1.6倍になりました。(※2) 一度社会に出てから改めて、博士・博士後期課程で研究を突き詰める機会の貴重さや博士号取得のニーズを感じた人が少なくないことが分かります。

■博士人材の「現在の配属先」

	理 系	文 系
1位	研究・開発系	法律・知的財産系
2位	数理・データサイエンス・AI系	研究・開発系
3位	IT・システムエンジニアリング・プログラミング系	経営企画・経営戦略系
4位	経営企画・経営戦略系	マーケティング系／人事・人材開発系

■博士人材の「今後活躍を期待する配属先」

	理 系	文 系
1位	研究・開発系	法律・知的財産系
2位	数理・データサイエンス・AI系	経営企画・経営戦略系 ↑
3位	IT・システムエンジニアリング・プログラミング系	財務・会計・経理系／マーケティング系 ↑
4位	経営企画・経営戦略系	研究・開発系／コンサルティング系 ↑

出展：日本経済団体連合会「博士人材と女性理工系人材の育成・活躍に関するアンケート結果」(2024.2.20)を基に作成

※1 日本経済団体連合会「博士人材と女性理工系人材の育成・活躍に関するアンケート結果」(2024.2.20)
※2 文部科学省「学士課程修了者の進学率の推移」(出典：学校基本統計)

博士人材の今後活躍を期待される分野



■2023年度修了者の進路決定状況 (2024年5月1日現在)

〈修士・博士前期課程〉
98.6%

〈博士・博士後期課程〉
99.2%

修了生からのメッセージ

第一線で活躍されている金沢大学の先生方の下で研究活動ができるのは貴重な経験になります。また、大学院で培った研究力・問題解決力は将来どのようなキャリアに進んだとしても有用な力になると思います



京都大学医学部附属病院
えびな こうた
蝦名 昂大さん
(医薬保健学総合研究科医学専攻
博士後期課程修了)



大学院では、専門外の分野に触れる機会も多かったため、全く知らない領域を自らの観点で論理的に理解していくプロセスを学べました。思考の組み立て方や議論の行い方はかなり業務に生きています

アクセント株式会社
なかむら ひなの
中村 雛乃さん
(人間社会環境研究科経営学専攻
博士前期課程修了)

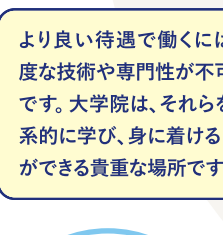


シスメックス株式会社
ふじた だいき
藤田 大輝さん
(医薬保健学総合研究科
保健学専攻
博士前期課程修了)

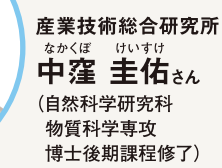
大学院での研究はトライ＆エラーの連続です。何度も失敗し、その理由を考え、新しい仮説を立てて再挑戦する過程で、普段経験できないような問題解決の考え方を学び、一つ成長できたと感じています



帝人株式会社
いとう だいき
伊藤 絵里香さん
(自然科学研究科
自然システム専攻
博士後期課程修了)



より良い待遇で働くには高度な技術や専門性が不可欠です。大学院は、それらを体系的に学び、身に付けることができる貴重な場所です



産業技術総合研究所
なかくぼ けいすけ
中窪 圭佑さん
(自然科学研究科
物質科学専攻
博士後期課程修了)



国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
そうま なつき
相馬 夏月さん
(医薬保健学総合研究科
保健学専攻
リハビリテーション科学領域
博士後期課程修了)

理学療法士は大学卒で資格の取得が可能であり、医療・介護の現場で勤務することができます。しかし、大学院に進学することで、大学や研究施設など、より幅広い職種での勤務が可能となります

三菱ケミカル株式会社
すぎさわ ひろき
杉澤 宏樹さん
(自然科学研究科物質化学専攻
博士後期課程修了)



仕事のプロジェクト遂行と研究課題の遂行には、全く同じ能力が求められると民間企業に就職して強く感じました。その遂行プロセスを自ら推進するには、大学院での研究活動は有用だと感じました



東京藝術大学
大学美術館
ごきた
五木田 まきはさん
(人間社会環境研究科人間社会環境学専攻
博士後期課程修了)



金沢大学医薬保健研究域
薬学系 助教
ふじた ひかる
藤田 光さん
(医薬保健学総合研究科
薬学専攻
博士課程修了)

就職後マヤ考古学を学びたいという積年の思いから師事する先生を追って金沢大学大学院に入学しました。専門性を深めるだけでなく、留学生が多いため多角的な視点を得ることができました

令和6年能登半島地震・奥能登豪雨における本学の取り組み

金沢大学は石川県に立地する総合大学として被災地に寄り添い能登の創造的復興と持続的发展を強力に支援していきます。

Design: POLUX Text: Public Relations strategy office staff

「オール金沢大学」で能登の復興・発展に寄与

金沢大学は、英知を結集し、学生・教職員が協働して、被災地の創造的復興に資するべく、支援活動や調査・研究を進めています。2024年1月末には「能登里山里海未来創造センター」を設置し、大学全体が一体感を持って動ける仕組みを構築しました。令和6年能登半島地震発生から1年3カ月の活動を振り返るとともに、現在の活動状況をお伝えします。



教育・支援活動



理工学域
地球社会基盤学類1年(当時)
上原 爽世花さん

美しい能登の魅力を伝えたい。
学生が「能登写真展」を企画

1月22日から28日に、学生たちが企画した「能登写真展」を角間キャンパスで開催。全国から1000枚以上の展示写真の応募があり、能登や県外からも多くの観覧者が訪れました。この写真展は、学生が未来をデザインする力を養う実践的な科目「未来デザインプラクティス」の一環として実施。2024年11月16日には能登町および輪島市で講義を行い、地域での学びを深めました。

2024年4月の入学後、ボランティアで能登を訪れました。震災後の被災状況の報道が多いですが、現地の方々からはお祭りや自然の豊かさなど、県外出身の私が知らない震災前の能登の素晴らしさを教えてもらいました。能登本来の魅力を伝えて、多くの方に能登を訪れてもらいたいと、この写真展を企画しました。

学術調査・研究

こころの疲労を簡易心電計での心拍変動の解析で見える化



保健管理センター
吉川 弘明教授



保健管理センター
足立 由美教授

こころのケア専門チームKEYPATが実施した発災後の学生・教職員の健康調査の発表で、全国大学メンタルヘルス学会賞を受賞。心拍変動解析による精神的疲労を評価する研究成果が国際学術誌に掲載されました。

ひとつづくり

復旧・復興と防災・減災に貢献できる人材を育成



令和7年度KUGS特別入試に「防災・復興人材選抜」を導入し、正課教育には「防災・復興人材特別プログラム」を新設します。専門分野での学修成果を基に、地域の復旧・復興に貢献し、世界の被災地の課題を踏まえて自らの的確な判断の下で防災・減災に活躍できる人材を育成します。

Information

復興に向けた新体制が始動

4月1日に、能登里山里海未来創造センターの体制を一新し、能登の創造的復興に向けた支援をさらに強化していきます。



未来創造部門

企画立案、環境整備および関係機関との連絡調整を行う

ひとつづくり部門

「防災・復興人材特別プログラム」を学域等と連携して実施する

まち・なりわいづくり部門

能登を起点とした調査・研究と社会実装を推進する

掲載しきれなかった活動は
金沢大学Webサイトより
ご覧ください



2024年1月1日 令和6年能登半島地震発生

1月

- 1日 災害対策本部を設置
学生・教職員に安否確認メール発信
附属病院の災害派遣医療チーム(DMAT)が石川県立中央病院に集合
- 2日 安否確認メール第2報を発信
自治体などの要請に基づき、医療従事者を派遣。以降、派遣を継続
- 5日 こころのケア専門チーム(KEYPAT)、金沢大学合同調査チーム(KUD)を設置
「在学者ワンストップ窓口」を開設、休日も含めて日本語・英語で対応
- 6日 「金沢大学家計急変に関する緊急学生支援金」を設置
- 15日 被災学生を対象に学生留学生宿舍の入居者募集開始、寄宿料など免除申請の受付開始
- 19日 「金沢大学被災学生・施設支援等基金(現・金沢大学能登復興未来創造基金)」を設置
- 25日 盛山文部科学大臣(当時)と学長が意見交換



30日 能登里山里海未来創造センターを設置

2月

- 2日 石川県知事と学長らが意見交換
石川県教育委員会の主導のもと、避難中の被災高校生への学びの支援を開始
- 3日 第1回 令和6年能登半島地震調査・支援活動報告会(以後、報告会)を開催



- 12日 石川県知事と学長、附属病院長、日本医師会会長らが意見交換
古代文明・文化資源学研究所の足立拓朗教授が七尾市で文化財レスキューを実施
- 14日 白山ろくなどで集団避難中の被災中学生への学習・課外活動等の支援開始
- 22日 有志学生・教職員が被災地域でボランティア活動を実施。以降、2025年2月までに延べ1400人超が活動に参加



3月

- 4日 理工研究域地球社会基盤学系の佐川拓也准教授と臼井洋一准教授が、学術研究船を用いた地震発生域での研究航海を他大学と実施

4月

- 21日 第2回報告会を開催



- 26日 秋篠宮皇嗣妃殿下がお成り。学生ボランティアや医療従事者のご懇談

5月

- 16日 雑談のチカラ「能登の里山里海の未来について考える」を実施
- 27日、10月26日、11月15日 音楽を通じた交流企画「みんなでミュージッキング@能登」を実施



6月

- 12日 セミナー「災害時の子ども支援を学ぶ」を開催
- 15日 能登里山里海SDGsマイスタープログラム2024年度入講式を挙行

7月

- 21日 第3回報告会「のと里山里海未来創造シンポジウム」を能登町、珠洲市、金沢市で同時開催



- 30日 雑談のチカラ「能登のこと、能登の未来について皆で語ろう!」を実施

8月

- 4日 学生の課外活動団体が中・高校生向けセミナー「被災地のために私たちができること」を実施
- 10日 能登復興支援イベント「のともっと!一七夕に能登への思いをー」を金沢美術工芸大学と連携して開催
- 19~30日 珠洲市内小中学校での学習支援および放課後子ども教室支援を実施

9月

- 7日 被災文化財救援フォーラム金沢2024を開催
- 15、29日、12月15日 医学展in能登を開催
- 22日 豪雨被災地域に医療従事者を派遣

10月

- 28日~11月3日 記憶の街ワークショップ in 珠洲・寺家を開催



11月

- 1日 令和7年度KUGS特別選抜 防災・復興人材選抜の出願開始
- 2、3日 金大祭、ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー、医学展で能登関連企画を実施
- 28日、12月12日 雑談のチカラ「研究力で支える能登復興:多分野の知恵と連携を通して」を実施

12月

- 7日 能登の里山里海学会2024を開催
- 8日 被災文化財救援フォーラム七尾2024を開催

2025年1月

- 6日~3月28日 企画展「バーシヴァル・ローエルの『NOTO』と能登の風景の記憶」を開催
- 23日 能登里山里海未来創造センターとNTT西日本北陸支店が連携協定を締結
- 25日 第4回報告会「のと里山里海未来創造シンポジウムー能登から未来を拓くー」を開催



2月

- 11日 学生の課外活動団体が熊本県益城町で能登アンテナショップを出店

3月

- 1日 能登里山里海SDGsマイスタープログラム2024年度生修了式を挙行
- 3日 「復興と観光」シンポジウムを東京都と金沢市で同時開催
- 3~9日 記憶の街ワークショップin能登町小木・九十九湾を開催
- 26日 能登復興支援イベント「のともっと!デッサン交流会」を金沢美術工芸大学と共催

最新ニュースを
お届け!!

NEWS&TOPICS

金沢大学の教育・研究に関する取り組みや学生の活躍など、
注目のニュースをピックアップ。本学の「今」を感じてください。

April 2025

ノーベル賞受賞者カリコ博士
学生とトークセッション

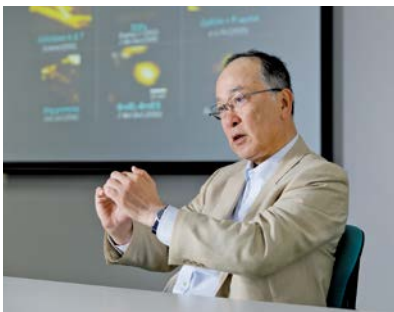
2024年12月5日、2023年ノーベル生理学・医学賞受賞者カタリン・カリコ博士をオンラインで招き、「雑談のチカラ×ダイバーシティ推進シンポジウム」を開催しました。Q&Aセッションでは、女性の理系進学意義、研究・開発への原動力、困難や挫折を乗り越えて生きる力・行動力についてや、同氏のmRNA研究に関する専門的な内容まで、多様な質疑応答が繰り広げられました。参加学生らは、世界的に活躍する女性研究者の知見に刺激を受けるとともに、今後のキャリアにおいて新たな視点を持つきっかけを得ることができました。



1.シンポジウム後、カリコ氏と参加者で記念撮影
2.Q&Aセッションの様子
3.カリコ氏に積極的に質問する学生

安藤敏夫特任教授が
2024年度江崎玲於奈賞受賞

2月26日、ナノ生命科学研究所の安藤敏夫特任教授が、2024年度江崎玲於奈賞を受賞しました。同賞は、日本国内の研究機関においてナノサイエンスおよびナノテクノロジー、または量子効果があらわに関わる物性分野の研究に携わり、新分野の開拓が期待できるとともに世界的に高い評価を得た研究業績を挙げた研究者を顕彰するものです。安藤特任教授の高速原子間力顕微鏡の開発が評価され、この度の受賞に至りました。



タンパク質の働く仕組みを知りたいという好奇心から開発

日本哲学に多大な貢献をした
マラルド氏に金沢大学国際賞

2024年11月19日、本学にゆかりを持つ哲学者、鈴木大拙と西田幾多郎にちなみ、哲学・思想・宗教の分野において、国際的に卓越した業績を挙げ活躍する研究者を顕彰する「第5回金沢大学国際賞」を、ノースフロリダ大学ジョン・C・マラルド名誉教授に授与しました。同氏が長年にわたり鈴木氏、西田氏の研究に取り組み、日本哲学の国際化と発展に多大な貢献をしたことが高く評価されました。

※同賞は、故 臼井滋氏(昭和39年金沢大学医学部卒業)のご篤志を原資としています



「西田哲学における可能性」と題し講演したマラルド氏

金沢大学宮本賞を創設
第1回は1名2団体を表彰

本学は、財政・地域・自治・環境に関する社会科学の分野で顕著な業績を挙げた研究者を顕彰し、社会貢献と日本の学術研究のさらなる発展に資することを目的として、本学名誉教授である宮本憲一氏からの御寄付を原資とした金沢大学宮本賞を創設しました。2024年11月6日、第1回授賞式を実施し、図書部に琉球大学星野高德教授、市民活動部でNPO法人愛のまちエコ倶楽部と、沖縄環境ネットワークに賞を授与しました。



授賞式には宮本氏も列席し受賞者を称えた

株式会社ムービーズが
金沢大学認定ベンチャーに

2024年10月8日、本学は、自動運転技術によって未来社会の高度モビリティ化を目指す「株式会社ムービーズ」に、金沢大学認定ベンチャーの称号を授与しました。同社は、未来知実証センターと株式会社ビジョンインキュベイト*の支援で創業した本学スタートアップ第1号です。本学は、今後も最先端の研究成果を社会に実装し、北陸をスタートアップ先進地区へと押し上げていくための支援を一層推進していきます。

※本学が100%出資で設立したベンチャーキャピタル



同社代表の菅沼直樹高度モビリティ研究所教授(右端)ら

NTT西日本と金沢大学が
能登地域の復興に向け連携

1月23日、能登里山里海未来創造センターは、NTT西日本北陸支店と「令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨からの創造的復興に向けた連携協定」を締結しました。本協定は、両者が持つ知見やリソースを生かして、復旧復興に向けた取り組みをさらに拡大し加速させることを目的とするものです。今後、本協定に基づき、eスポーツなどによる心身の健康維持や、オフグリッドの実証などの活動を通して、能登地域の創造的復興に寄与していきます。



NTT北陸支店長(中央左)と谷内江センター長(中央右)ら

世界最高到達点に挑む14歳
クライミング初出場で優勝

本学附属中学2年の林有沙さんは、2024年度に行われたスポーツクライミングのリードユース日本選手権・ユース世界選手権・ユースアジア選手権の3大会に初出場し、全大会、ユースB女子リード競技で優勝しました。小柄な身長でも世界の強豪選手と戦える技を磨き、安全と配点を意識した戦略的なコースを見極める判断力を鍛え、それらの努力が見事に実を結びました。夢はオリンピック出場。世界の難壁に挑戦を続けます。



ユース世界選手権の競技に挑む林さん

北陸地域の観光や国際化の
イノベーションを加速内閣府「令和6年度地域中核大学
イノベーション 創出環境強化事業」
に採択

大学が核となり、独自のミッション・ビジョンに基づく強みや特色を最大限発揮し、地域ニーズに即した社会貢献活動を推進する事業です。観光科学を核とした文理医融合研究によって、新たな観光価値の創出を加速させ、加賀・能登をフィールドに自治体・経済界と連携しながら、社会実装によるイノベーションを実現していきます。

文部科学省「大学の国際化による
ソーシャルインパクト 創出支援事業」
に採択

「多層型多文化共修プログラムによる価値創造人材の育成とそれを育むGlobal Innovation Campusの実現」のため、新たな価値を創造できるグローバルな人材を輩出するとともに、学外のさまざまなセクターと連携し、北陸地域全体の国際化を強力にけん引していきます。

能登と金沢、地域と金沢大学
イベント通じ思いを紡ぐ

2024年9月15日に輪島市、同29日に七尾市で医学展in能登、11月2、3日に宝町・鶴間キャンパス宝町地区で、医学展本祭を開催しました。1952年から続く医学展の歴史の中で、初めて能登開催を実現。豪雨の影響で一度は中止した珠洲会場も、12月に開催することができました。子どもからお年寄りまで多くの方が参加し、笑顔があふれるイベントとなりました。本祭にも能登在住の方を招待し、附属病院見学ツアーやドクターカー展示など、本祭ならではの企画も体験していただきました。

医学展本祭と同日、角間キャンパスでは、第61回金大祭を「鼓動〜情熱が向かう場所〜」をテーマに開催し、メイン企画として能登復興支援の御陣乗太鼓が披露されました。

11月2日に開催した理工学域ふれてサイエンス&てくてくテクノロジーでは、新たにバイオマス・グリーンイノベーションセンターを会場にした企画の実施や、能登の方を招待するなどパワーアップし、大盛況となりました。

医学展in能登



金大祭



ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー



Entertainment Information
on Kanazawa University

学生のための連載企画

Enjoy!!

金沢大学には、さまざまなジャンルの大学・学類公認課外活動団体があります。今回は、その中でも注目の団体を紹介します。

課外活動団体

SNAP

Q

アピールポイントを教えてください

活動を通して目標に向かい、挑戦している皆さんに聞いてみました！


合唱団
Chorus

A
心をついに「金大サウンド」を届けます。昨年は全国大会で、金賞を受賞！

実戦空手部
Practical Karate Club

A
組手（フルコンタクト派）だけでなく、型（松濤館流派）の稽古もしており、**礼節と不撓不屈の精神**を磨いています

金沢法友会
Kanazawa Law Club

A
世の中を形作る法について考え、**中高生に伝える活動**をしています！

水泳部
Swimming Club

A
チームの一体感は抜群。昨年は**中部大会で男子総合3位**を獲得しました


掲載しなかった情報は大学公式Instagramで随時公開します


チアリーダー部
Cheerleading Club

A
笑顔が絶えない明るい雰囲気が魅力です。インカレで予選突破を決め、次は北陸代表として**JAPAN CUP出場が目標**です

A
艇と駆ける水上最速のスポーツ。昨年は**全日本大学ローイング選手権で準優勝！**

ボート部
Boat Club

A
日本インカレ入賞や石川陸上競技協会「**優秀選手賞**」に選ばれた選手も在籍。**楽しい仲間と一緒に切磋琢磨**しています

陸上競技部
Athletic Club

よさこい彩
Yosakoi Circle -IRODORI-

A
「**愛し愛される彩**」をモットーに、見に来てくれた方に**元気や笑顔**を届けます。日本最大級の踊りの祭典では**衣装賞を受賞**

Acanthus 56号

Cover Model's Voice

今号のカバーモデル

教育実践研究科
教育実践高度化専攻 1年
ありま だい
有馬 大さん


Photo: Yuji Fujimori

福井県出身の有馬さんは、他大学から金沢大学大学院へ進学。教育実践研究科で学びを深めています。「学士課程よりさらに専門的な授業実践や学校経営の方法を探究できると思い、大学院進学を決意しました」。

大学院での学びを通して視野が広がったという有馬さん。これまでは、教員各人の力量が授業の質や経営に大きく影響すると思っていたそうですが、教員同士の連携の重要性を再認識したとか。2025年度の実習に向け、授業実践の計画を煮詰めています。

| PRESENT |

金沢大学オリジナル
QUOカード(500円分)
10名様


金沢大学オリジナルQUOカード(500円分)を抽選で10名様にプレゼント。今号に挟み込まれている応募ハガキもしくは下記バーコードから応募フォームにアクセスし、アンケートにご記入の上、ご応募ください。

【応募締切】
2025年8月31日

※当選者の発表はプレゼント発送をもってかえさせていただきます。



OPEN
CAMPUS
2025

KANAZAWA UNIVERSITY

STORY

金沢大学で、始まる。

Acanthus

金沢大学広報誌「アカンサス」 56 2025 SPRING

発行日 / 2025年4月1日 発行 / 金沢大学 広報戦略室

〒920-1192 金沢市角間町

TEL / 076-264-5024

E-mail / koho@adm.kanazawa-u.ac.jp



春季対面型キャンパスビジット

R7 5/17 SAT

融合学域, 人間社会学域,
理工学域, 医薬保健学域(医学類を除く)

5/25 SUN

医薬保健学域 医学類

対 象

高校2年次以上

定 員

学類ごとに設定
申込期間中でも、定員に達した場合、受付を終了します。

申込期間

4/4(金)~4/21(月)

会 場

角間キャンパス/宝町・鶴間キャンパス

内 容

入試情報・学類の最新情報紹介/模擬授業/
研究室見学/学生生活紹介等



夏季Webキャンパスビジット

R7 8/1 FRI → 15 FRI

対 象

高校生/本学志願者/
志願者家族/学校関係者等

申込期間

7/11(金)~8/15(金)

会 場

Webのみ

内 容

学類紹介/模擬授業/学生生活紹介/
オンライン相談会等

※一部のプログラムには定員があります。

リアルタイム配信
8/7 THU-8 FRI

※詳細はキャンパスビジットWebサイトでご確認ください。



金沢大学で 新たな知と出会う

<進学を奨励>

学士課程卒業後は大学院へ進学し、
修士・博士・専門職学位取得へ

4 学域・20 学類での学び

金沢大学は4学域・20学類から成る総合大学です。本学では、学部学科よりも幅広い学域学類制を採用しています。出願時には専門分野を決める必要がないため、入学してから自分が本当にやりたいテーマを探していくことができます。なお、医薬保健学域の保健学類ではコース別の入試となります。

融 合 学 域

・先導学類
・観光デザイン学類
・スマート創成科学類

人 間 社 会 学 域

・人文学類
・地域創造学類
・法学類
・国際学類
・経済学類
・学校教育学類 共同教員養成課程

理 工 学 域

・数物科学類
・電子情報通信学類
・物質化学類
・地球社会基盤学類
・機械工学類
・生命理工学類
・フロンティア工学類

医 薬 保 健 学 域

・医学類(6年制)
・薬学類(6年制)
・医薬科学類
・保健学類

看護学専攻
診療放射線技術学専攻
検査技術科学専攻*
理学療法学専攻
作業療法学専攻

※令和8年4月1日より「医療検査技術学専攻」に名称変更予定



金沢大学
KANAZAWA
UNIVERSITY

